

琉球大学学術リポジトリ

調査回答書：トラック諸島春島公學校

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/37988

矢内原忠雄文庫

史料名	トラック諸島春島公学校 柏谷近信による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」昭和7年9月13日
封筒番号	45
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成18年5月30日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号： 45

史料名	トラック諸島春島公学校 柏谷近信による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」昭和7年9月13日
資料形態	B4
枚数	2
页数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原送付の質問書 今泉分類記号： N

南洋群島々民教育に関する質問書

トリアノ諸島春島公学校

柏谷近信

質問事項

答

一、修身科

- 1. 主たる訓育の目的は何か
- 2. 時に國体觀念の養成に努めらるることありや
- 3. 特に風習の改善に努めらるることありや

二、國語科

- 1. 教授用語には島民語を用ふことありや
- 2. 國語は各島民相互間の共通語として發達しつゝありと認めらるるか
- 3. 三ヶ年の學習にて日用を便するに不足せざるか

三、算術科

- 1. 在來島民は如何ほど迄の数を教へ得るか
- 2. 度量衡を教授するか

四、島民は如何なる學科に適し如何なる學科に不適ふりと認めらるるか

- 五. 島民に好學心向上心が認めらるるか
- 六. 島民は教育により知能發達して文明人に到達する見込ありと認めらるるか
- 七. 助教員は如何なる仕事を担当するか
- 八. 島民生徒の年齢最高最低平均如何
- 九. 島民の就學は自發的ふりや又は官の奨励に出づや
- 十. 島民語の文字化、文典辭典の編纂等は行はれし居るか

一、善良なる社會の員たるの性格涵養にあり
 二、皇室並に帝國に對する感謝報恩の觀念
 養成は必ずしも國体觀念養成といふ可
 特にならず
 三、本島民は利己主義に於て行動は凡そ利己主義
 並に衛生思想に乏し故に此の点に於て
 改善に努めらるるあり

一、第一學年は島民助教員を以て通譯教授
 第二學年は難解の新出た言語可なり
 三、島民語使用
 四、認めらるる

二、不足を感ず

三、

- 1. 4位迄
- 2. 教授しあり

四、四區五唱歌体操に適し
 教理に關する學科に不適

五、認めらるる

六、所謂教育百年の計をもつてせば文明人の域に
 達し得るものと認めむ

七、主として教授の通譯

八、其他兒童看護事務の補助

九、昭和七年三月の現在

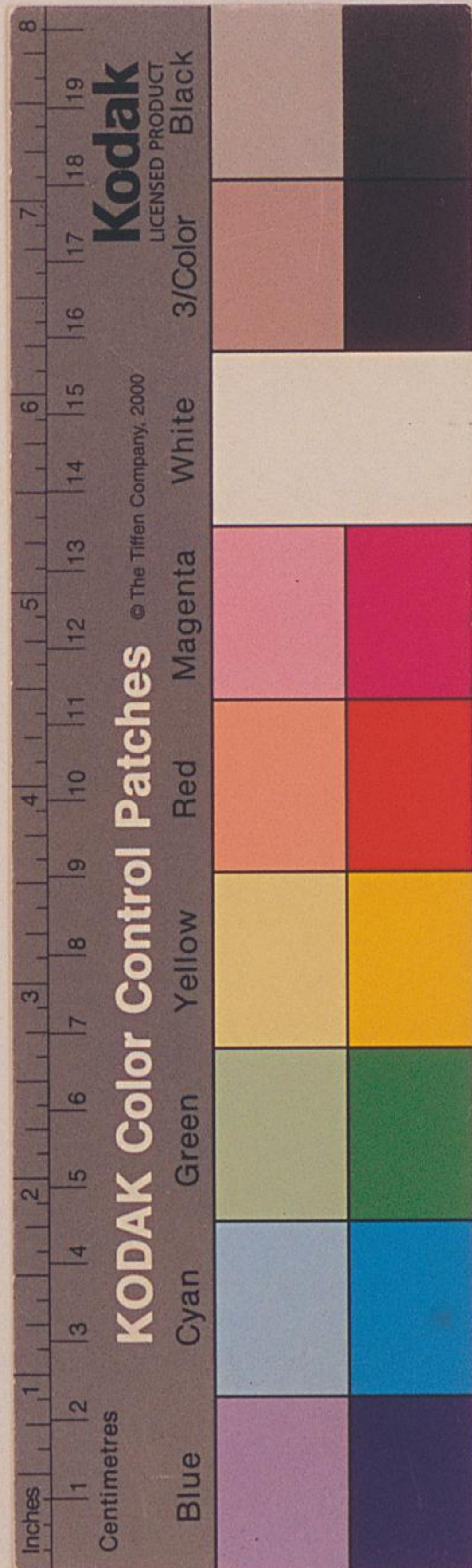
最高 平均

男 一九 一〇 一三才三月

女 一五 一〇 二才九月

十、就學せしむる見込あり、約八割は自發就學
 其他は疾病其他の關係により官の奨励
 による就學

十一、文字化は行はれ居るも其他はなし



島民教育に関する質問(第三)

質問 事項 復

- 一 島民は學校を如何なる程度に尊重するか
- 二 島民生徒の出席は規則正しきや 出席を促がす為めには如何なる方法によるや
- 三 半途退學者ほどの位あるか(入學者に對する率)
- 四 島民兒童の能力は邦人又は歐人に比して如何 又女生徒の能力は男生徒に比して如何
- 五 島民兒童の勤勉、従順、品行の状況如何
- 六 公學校及補習學校卒業程度に於て學習する知識の程度如何
- 七 學習せる知識の卒業後に於ける利用状況如何 又非就學島民に比して生活上如何なる相違を示すか

解答

- 一 内地人と大差なし
- 二 出席は規則正し
方法、通學團編制
2. 在留邦人並島民村長に依頼し出席を促す
- 三 昭和三年から入學者はつぎ
男五二二 女五七二 平均五三三
昭和四年から入學者はつぎ
男三九六 女一六六七 平均三四二
四 一可成り差あり
女生徒 優秀
- 五 従順なるも勤勉が乏しき言ひ難し多し勤務課程を明示するときは一生懸命品行をよきものに爲す部
- 六 公學校より尋常四學年程度
- 七 島民相互の間に於いて利用するに未だ十分なきも邦人對し場合々々少くも之を利用せんとし、あり
2. 日常生活上に於いてはさしたる相違を認めざらん
共同作業又は村長並官より命令事項遂行に於て其の効果を認む

以上

矢内原忠雄文庫

史料名	トラック諸島春島公学校 柏谷近信による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」昭和7年9月13日
封筒番号	45
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月8日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：45

史料名	トラック諸島春島公学校 柏谷近信による回答「南洋群島々民教育ニ関スル調書」昭和7年9月13日
資料形態	B4
枚数	2
頁数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 矢内原送付の質問書 今泉分類記号：N

43-5

南洋群島々民教育に関する質問書

トラフ 水曜島公学校
矢村 憲治

質問事項

答

一、修身科

- 1. 主たる訓育の目的は何か
- 2. 特に國體觀念の養成に如何なることありや
- 3. 特に風習の改善に努めらるることありや

二、國語科

- 1. 教授用語には島民語を用ふことありや
- 2. 國語は各島民相互間の共通語として發達しつ
- 3. 三ヶ年の學習にて日用を便するに不足せざるか

三、算術科

- 1. 在來島民は如何ほど迄の数を教へ得るか
- 2. 度量衡を教授するか

四、島民は如何なる學科に適し如何ふる學科に不適ふりと認めらるるか

- 五. 島民に好學心向上心が認めらるるか
- 六. 島民は教育により知能發達して文明人に到達する見込ありと認めらるるか
- 七. 助教員は如何ふる仕事を担当するか
- 八. 島民生徒の年齢最高最低、平均如何
- 九. 島民の就學は自發的ふりや又は官の奨励に出づるか
- 十. 島民語の文字化、文典辭典の編纂等は行はれ居るか

文明人クラレメトス、未ダ更レ

自由ヲ人爲ニ急務ヲ勤勞ヘ

使用セズ、現在ニハ、共通語トシテ發達シ認ラレズ

不足

千位ニテ教授ス

技能學科ニ適シ、思考要科ニ不適

昨今僅シ認めル

遠キ將來ニ於テアト認ム

通譯ヲナク

十八才、九才、十三才

近年自發的カ多クナレリ

無し



1/12



島民教育に関する質問(第二)

質問 事項 復

答

一、島民は學校を如何なる程度に尊重するか

自發的に尊重心あり

二、島民生徒の出席は規則正しきや、出席を促がす為めには如何なる方法によらば

近年規則正しくなり、
通學團の組織が自治的の指導を

三、半途退學者はどの位あるか(學看に對する率)

〇・四

四、島民兒童の能力は邦人又は歐人に比し如何、又女生徒の能力は男生徒に比し如何

著しく差あり、
男生徒が勝る

五、島民兒童の勤勉、従順、品行の状況如何

怠惰、従順、不良

六、公學校及補習學校卒業程度に於て學習する知識の程度如何

本科卒業、一尋常四年程度、
補習科卒業、一尋常六年程度

七、學習せる知識の卒業後に於ける利用状況如何、又非就學島民に比し其生活上如何なる相違を示すか

未だ利用せざし、
衛生上學業に僅かな相違あり、
湯の